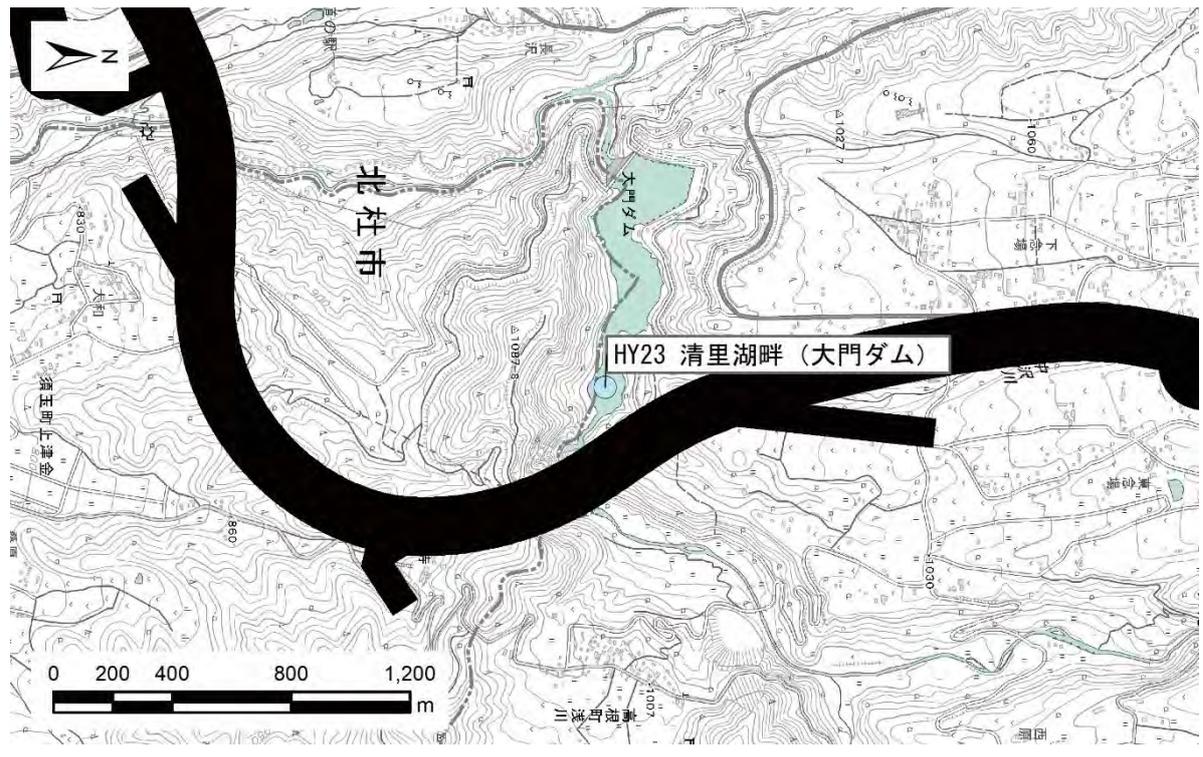


表 11.14.1-11 (23) 予測結果 (HY23 清里湖畔 (大門ダム)) (山梨県)

予測項目		予測結果
道路の存在・自動車の走行	触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変の程度	清里湖畔 (大門ダム) は計画路線と交差しないため、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変はありません。よって、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源は保全されると予測されます。
	利用性の変化	散策、ダム見学、自然観察の主な利用は、施設内を中心としたものであり、本ダムに流入する大門川については計画路線明かり部の橋梁部が通過しますが、施設内の改変はないため、散策の利用に支障は生じません。よって、利用性の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。
	到達時間・距離の変化	清里湖畔 (大門ダム) への進入路は東側を計画路線が通過しますが、橋梁部であるため、既存道路は残されることから、アクセス道路は分断されません。また、この他に西側からのアクセス道路が存在するため、本施設への到達時間・距離に変化はほとんど生じません。よって、到達時間・距離の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。
	快適性の変化	清里湖畔 (大門ダム) は計画路線明かり部 (橋梁部) から 204m 西側 (近景) にあり、計画路線明かり部の橋梁構造を視認することができます。また、計画路線が 250m 以内にあることから、自動車の走行により生ずる騒音がバードウォッチングに影響を及ぼす可能性があります。よって、快適性の変化による影響が生じる可能性は高いと予測されます。



注：バードウォッチングとしては「HY11 大門ダム (清里湖周辺)」の利用状況として整理されておりますが、地点としては、「HY23 清里湖畔 (大門ダム)」の方が計画路線に近いので、本地点においてバードウォッチングへの影響を予測しております。

表 11.14.1-11 (24) 予測結果 (HY24 大滝) (山梨県)

予測項目		予測結果
道路の存在・自動車の走行	触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変の程度	大滝は計画路線と交差しないため、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変はありません。よって、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源は保全されると予測されます。
	利用性の変化	散策、自然観察の主な利用は、大滝を中心としたものであり、計画路線による地点の改変はなく、利用に支障は生じません。よって、利用性の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。
		到達時間・距離の変化
	快適性の変化	触れ合い活動の場から、計画路線は視認されません。よって、快適性の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。

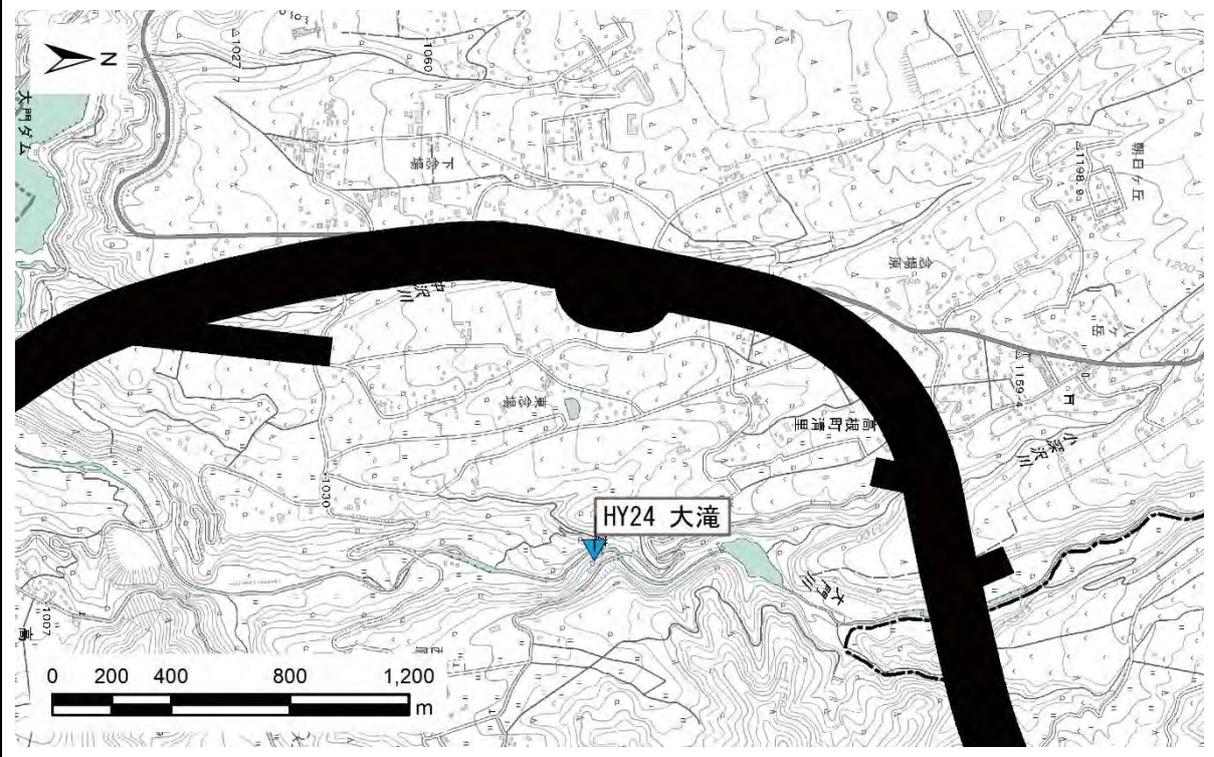


表 11.14.1-11 (25) 予測結果 (HY25 宮司の滝) (山梨県)

予測項目		予測結果
道路の存在・自動車の走行	触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変の程度	宮司の滝は計画路線と交差しなため、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変はありません。よって、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源は保全されると予測されます。
	利用性の変化	散策、自然観察、ハイキング、釣りの主な利用は、溪流沿いの林道を中心としたものであり、計画路線による林道や宮司の滝の改変はないため、散策、自然観察等の利用に支障は生じません。よって、利用性の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。
	到達時間・距離の変化	宮司の滝は、既存道路が残されることから、アクセス道路は分断されません。よって、到達時間・距離の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。
	快適性の変化	触れ合い活動の場から、計画路線は視認されません。よって、快適性の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。

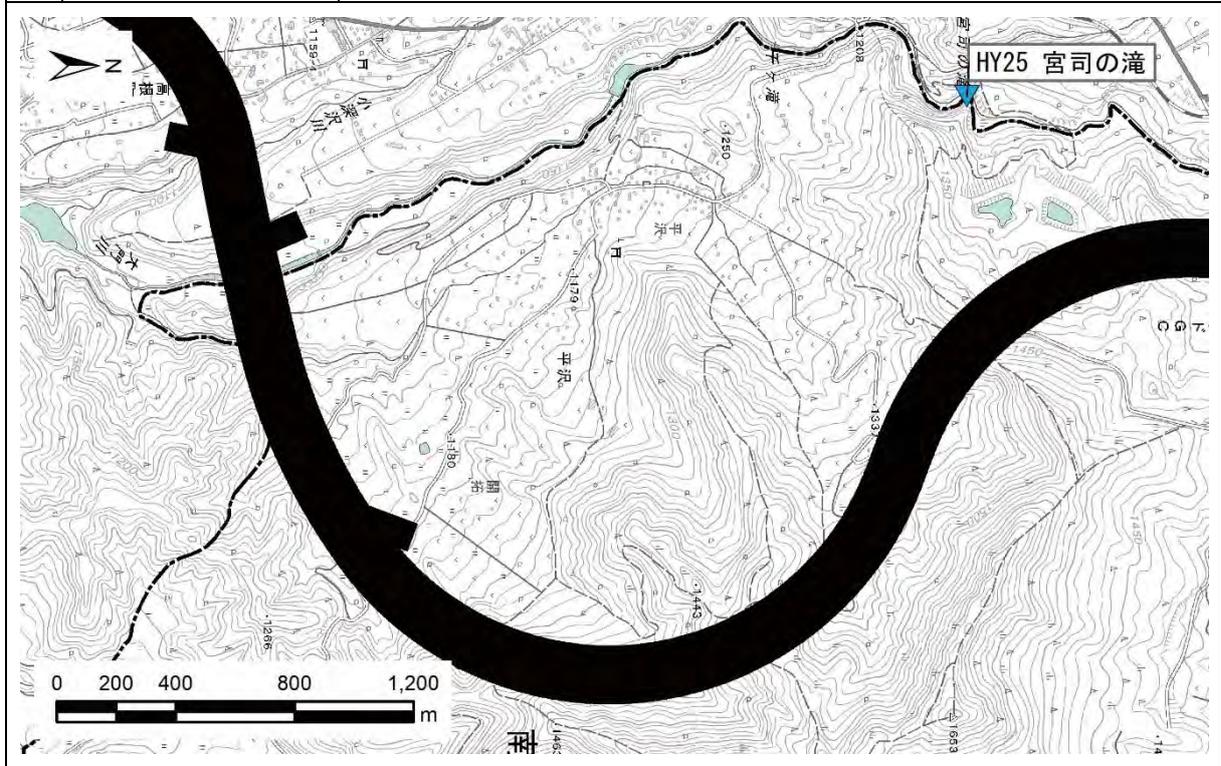


表 11.14.1-11 (26) 予測結果 (HY26 おいしい学校) (山梨県)

予測項目		予測結果
道路の存在・自動車の走行	触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変の程度	おいしい学校は計画路線と交差しないため、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変はありません。よって、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源は保全されると予測されます。
	利用性の変化	自然鑑賞、飲食の主な利用は、校庭のサクラ等の自然鑑賞や施設内での飲食を中心としたものであり、計画路線による敷地内の改変はないため、利用に支障は生じません。よって、利用性の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。
	到達時間・距離の変化	おいしい学校へのアクセス道路は複数存在し、計画路線によりほとんど改変を受けないことから、計画路線の存在による本施設への到達時間・距離に変化はほとんど生じません。よって、到達時間・距離の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。
	快適性の変化	おいしい学校は計画路線明かり部（橋梁部）の一部から計画路線（土工・橋梁部）が視認されますが、計画路線が視認される範囲はごく一部であり、構造物（橋梁等）及び道路付属物の検討に当たっては、形式、デザイン、色彩について、周辺景観との調和や、地域住民に配慮します。よって、快適性の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。

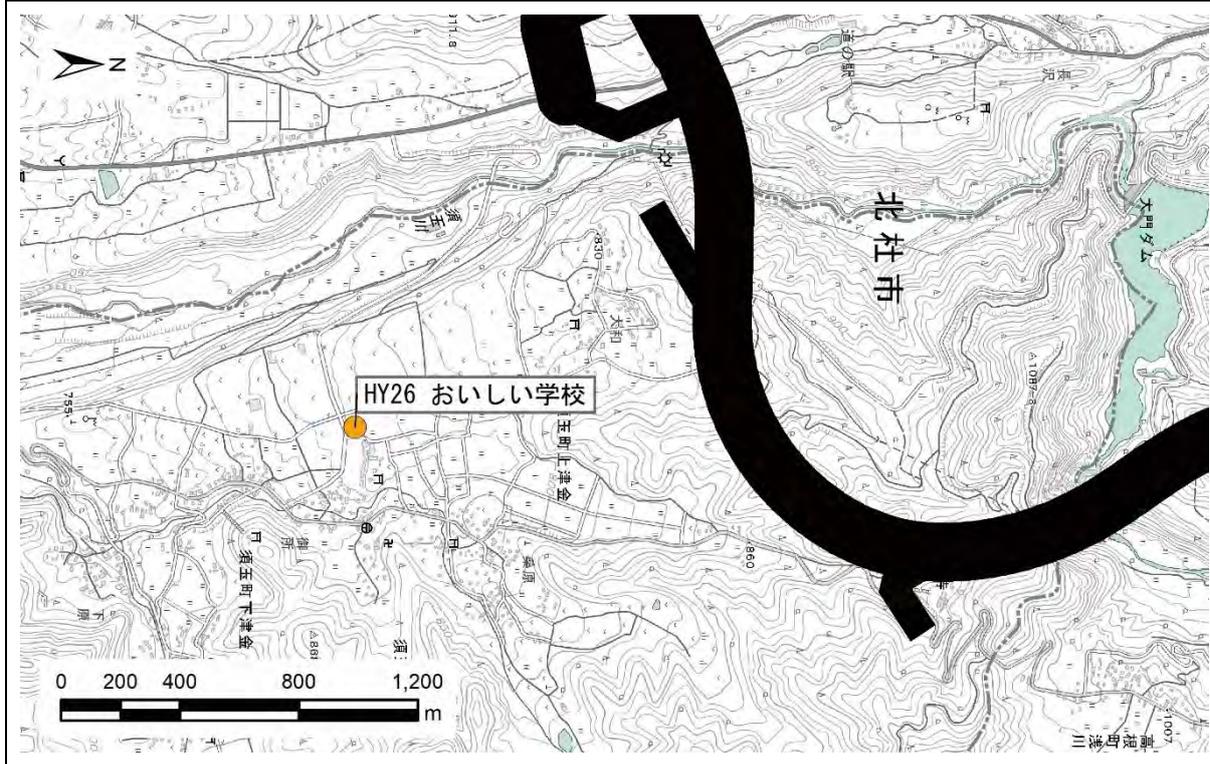


表 11.14.1-12 (1) 予測結果 (HN1 長湖) (長野県)

予測項目		予測結果
道路の存在・自動車の走行	触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変の程度	長湖付近はトンネル区間であり、計画路線と交差しないため、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変はありません。よって、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源は保全されると予測されます。
	利用性の変化	釣り、施設利用等の主な利用は、長湖周辺の施設を中心としたものであり、計画路線による長湖の改変はないため、釣り、施設利用等の利用に支障は生じません。よって、利用性の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。
	到達時間・距離の変化	計画路線により改変される既存道路に対しては近傍に付け替え道路を整備するため、アクセス道路は分断されません。また、計画路線の利用による触れ合いの活動の場への到達時間の短縮が見込まれます。よって、到達時間・距離の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。
	快適性の変化	触れ合いの活動の場から、計画路線は視認されません。よって、快適性の変化による影響は生じないと予測されます。

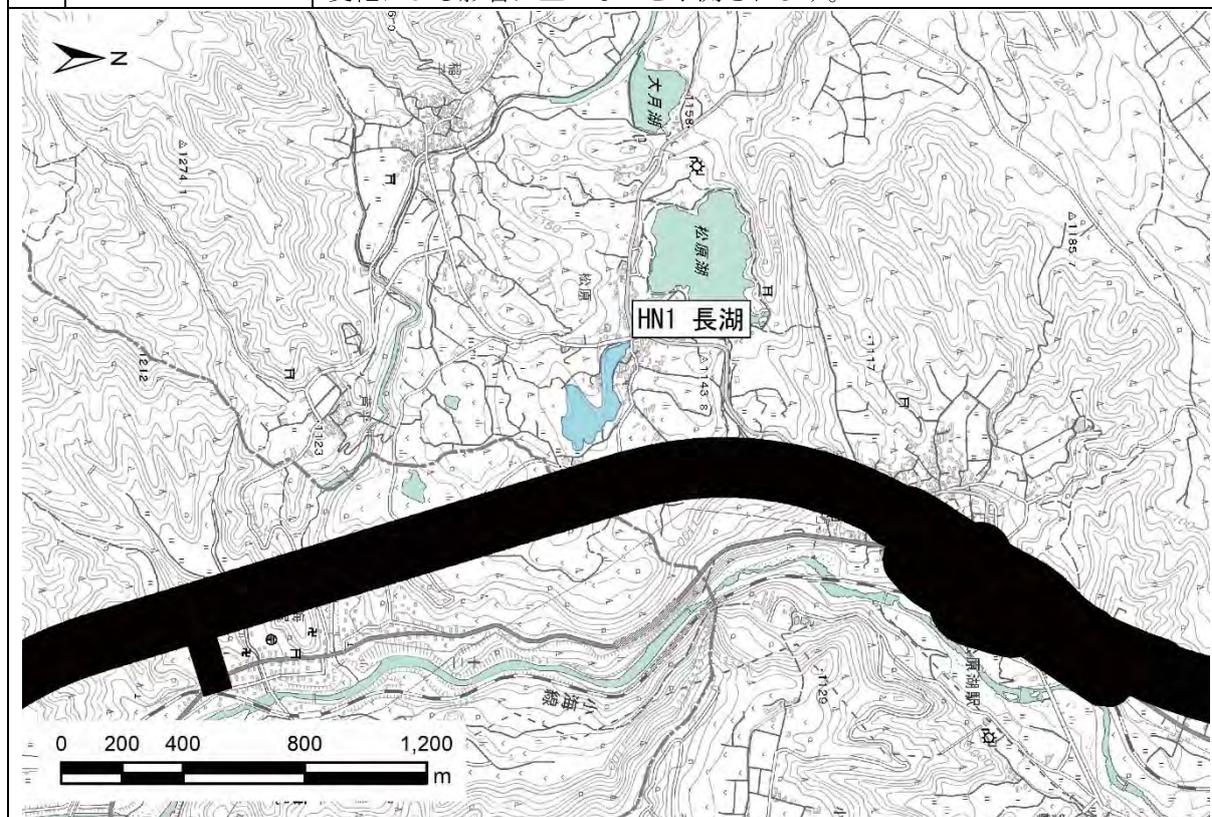


表 11.14.1-12 (2) 予測結果 (HN2 松原湖) (長野県)

予測項目		予測結果
道路の存在・自動車の走行	触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変の程度	松原湖付近はトンネル区間であり、計画路線と交差しないため、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変はありません。よって、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源は保全されると予測されます。
	利用性の変化	散策、釣り、自然観察、ボート、花火大会等の主な利用は、松原湖周辺の施設を中心としたものであり、計画路線による松原湖の改変はないため、散策、自然観察、ボート、花火大会等の利用に支障は生じません。よって、利用性の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。
	到達時間・距離の変化	計画路線により改変される既存道路に対しては近傍に付け替え道路を整備するため、アクセス道路は分断されません。また、計画路線の利用による触れ合いの活動の場への到達時間の短縮が見込まれます。よって、到達時間・距離の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。
	快適性の変化	触れ合いの活動の場から、計画路線は視認されません。よって、快適性の変化による影響は生じないと予測されます。

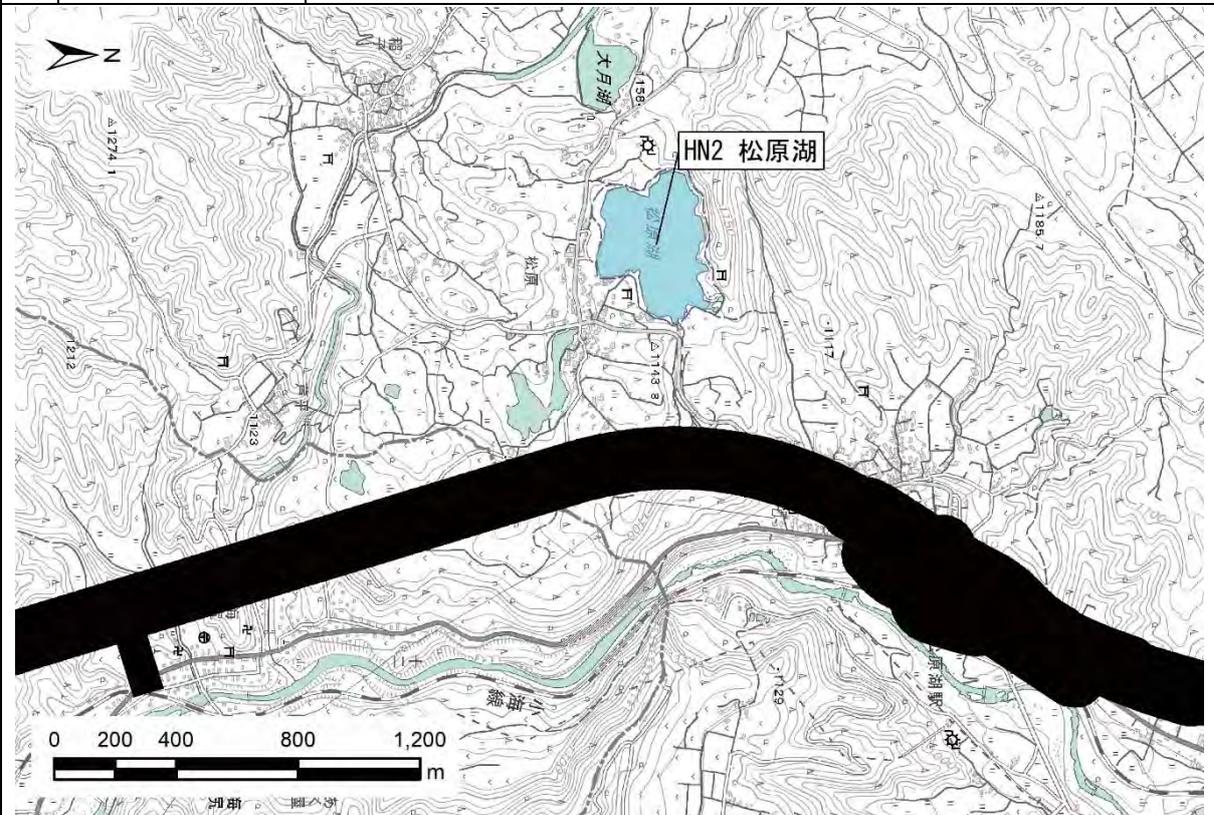


表 11.14.1-12 (3) 予測結果 (HN4 平沢峠) (長野県)

予測項目		予測結果
道路の存在・自動車の走行	触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変の程度	平沢峠付近はトンネル区間であり、計画路線と交差しなため、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変はありません。よって、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源は保全されると予測されます。
	利用性の変化	登山、ハイキング散策、自然観察、休憩等の主な利用は、平沢峠周辺の施設を中心としたものであり、計画路線による改変はないため、登山、ハイキング散策、自然観察、休憩等の利用に支障は生じません。また、計画路線は視認されないことから、照明施設によるスターウォッチング等の利用の支障は生じません。よって、利用性の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。
	到達時間・距離の変化	計画路線により改変される既存道路に対しては近傍に付け替え道路を整備するため、アクセス道路は分断されません。また、計画路線の利用による触れ合いの活動の場への到達時間の短縮が見込まれます。よって、到達時間・距離の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。
	快適性の変化	触れ合いの活動の場から、計画路線は視認されません。よって、快適性の変化による影響は生じないと予測されます。

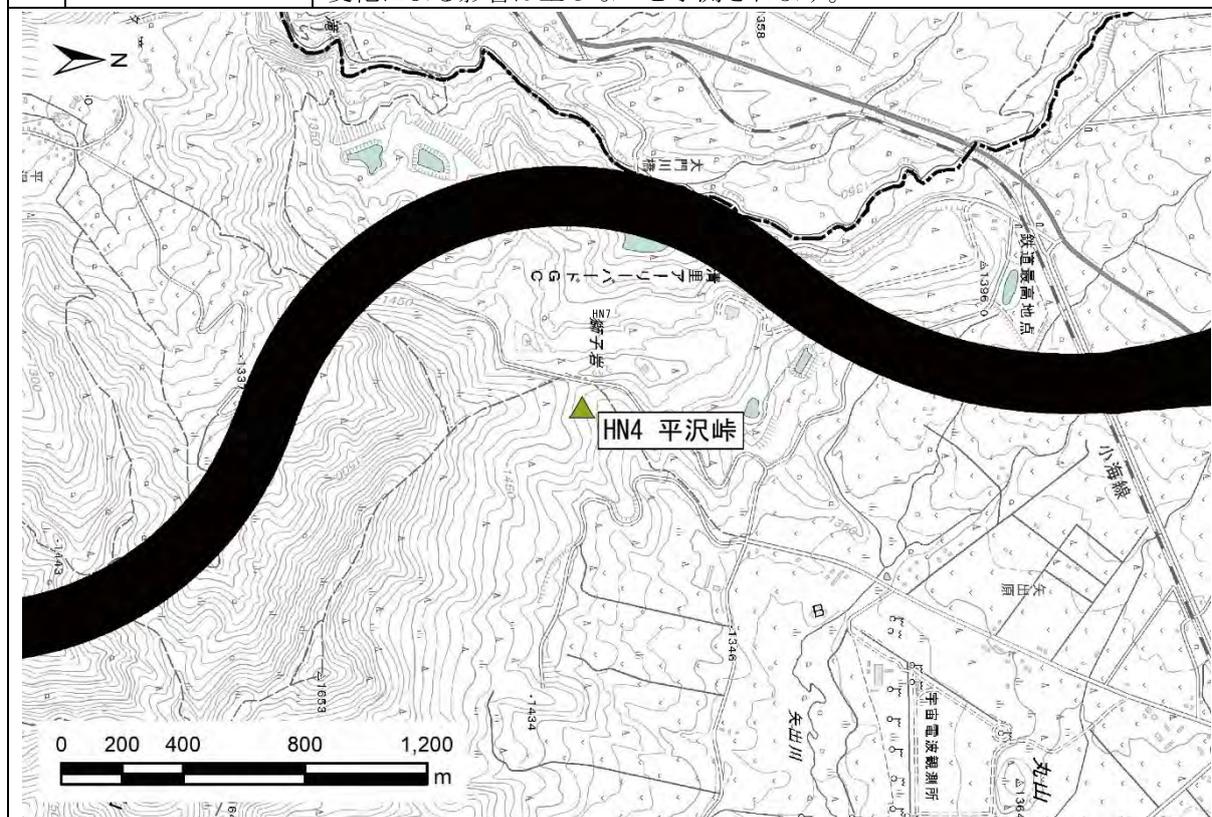


表 11.14.1-12 (4) 予測結果 (HN6 滝沢牧場) (長野県)

予測項目		予測結果
道路の存在・自動車の走行	触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変の程度	滝沢牧場付近はトンネル区間であり、計画路線と交差しないため、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変はありません。よって、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源は保全されると予測されます。
	利用性の変化	施設利用、キャンプ、散策の主な利用は、牧場内の施設を中心としたものであり、計画路線による牧場の改変はないため、施設利用、キャンプ、散策の利用に支障は生じません。よって、利用性の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。
	到達時間・距離の変化	計画路線により改変される既存道路に対しては近傍に付け替え道路を整備するため、アクセス道路は分断されません。また、計画路線の利用による触れ合いの活動の場への到達時間の短縮が見込まれます。よって、到達時間・距離の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。
	快適性の変化	触れ合いの活動の場から、計画路線は視認されません。よって、快適性の変化による影響は生じないと予測されます。

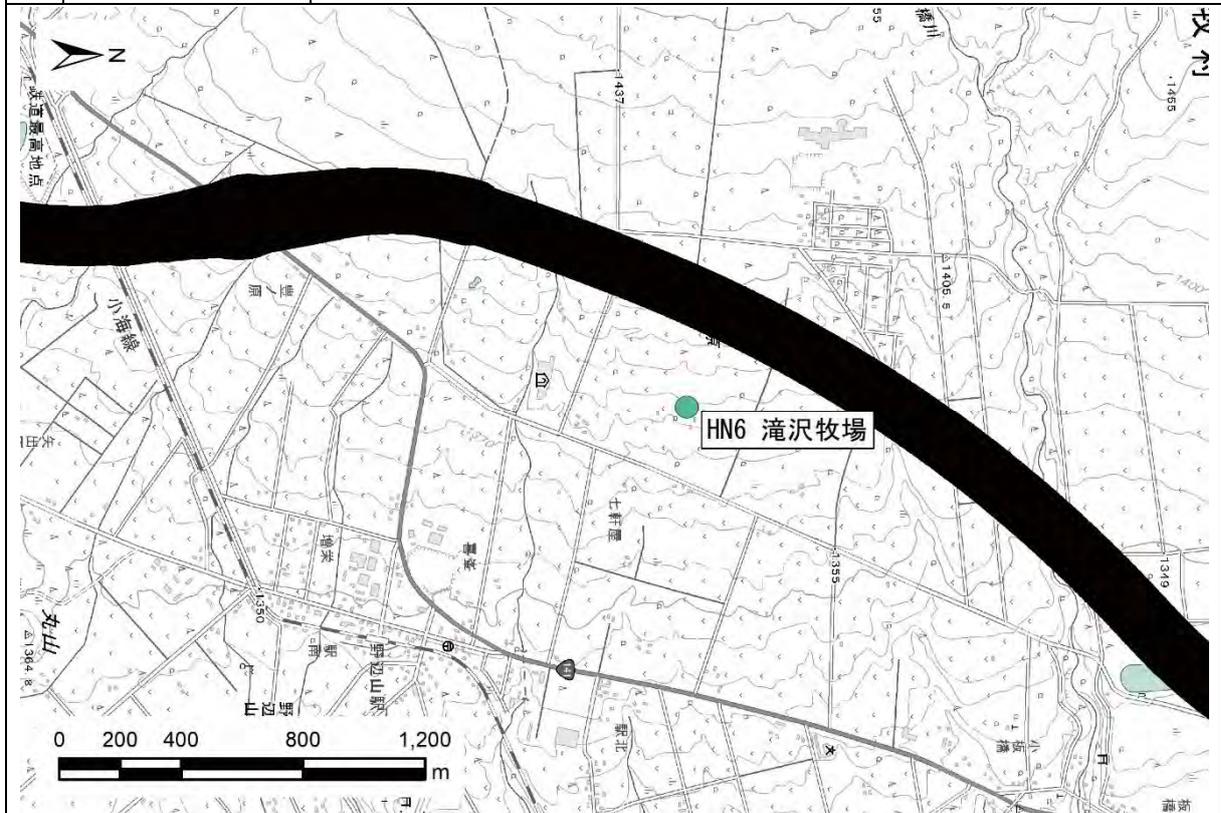


表 11.14.1-12 (5) 予測結果 (HN9 八ヶ岳ふれあい公園) (長野県)

予測項目		予測結果
道路の存在・自動車の走行	触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変の程度	八ヶ岳ふれあい公園付近はトンネル区間であり、計画路線と交差しないため、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変はありません。よって、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源は保全されると予測されます。
	利用性の変化	散策、釣り、ピクニック、スターウォッチング等の主な利用は、公園内の施設を中心としたものであり、計画路線による公園内の改変はないため、散策、釣り、ピクニック、スターウォッチング等の利用に支障は生じません。また、計画路線は視認されないことから、照明施設によるスターウォッチング等の利用の支障は生じません。よって、利用性の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。
	到達時間・距離の変化	計画路線により改変される既存道路に対しては近傍に付け替え道路を整備するため、アクセス道路は分断されません。また、計画路線の利用による触れ合いの活動の場への到達時間の短縮が見込まれます。よって、到達時間・距離の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。
	快適性の変化	触れ合いの活動の場から、計画路線は視認されません。よって、快適性の変化による影響は生じないと予測されます。

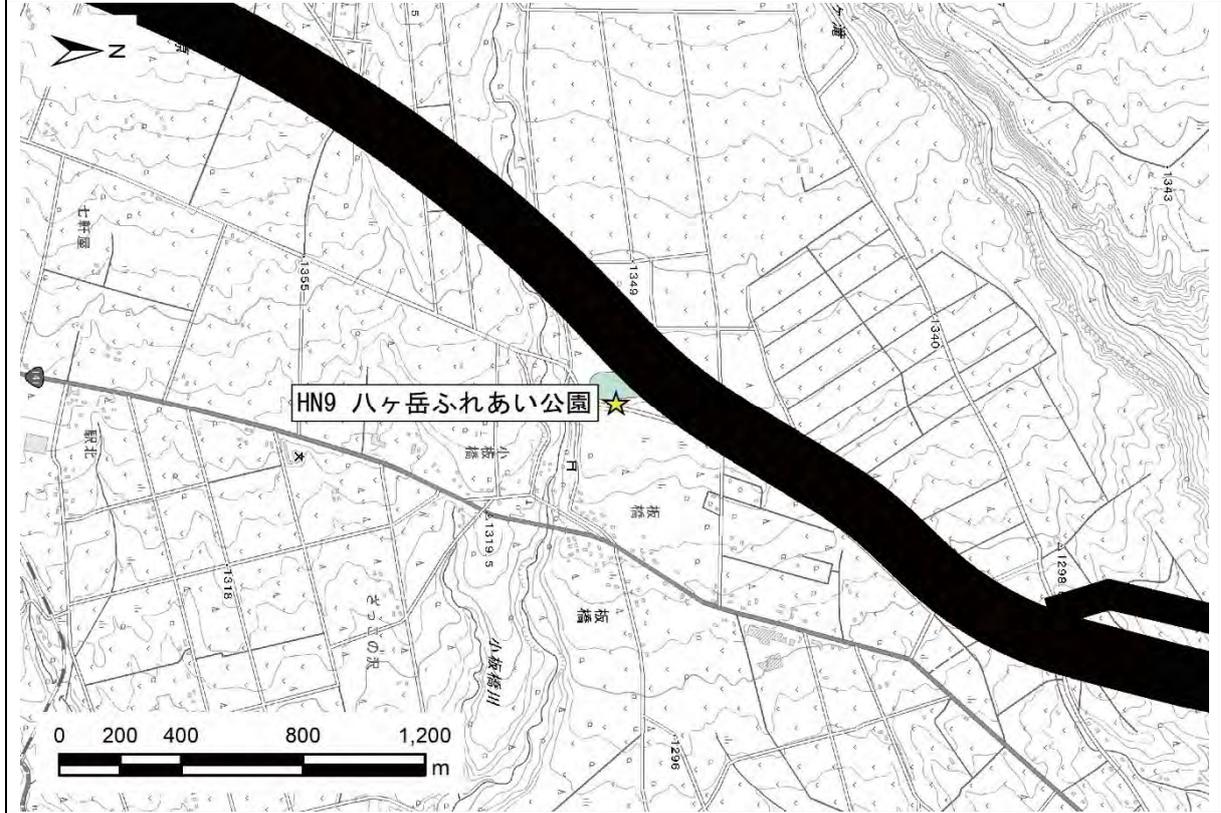


表 11.14.1-12 (6) 予測結果 (HN10 野辺山高原サイクリング (ロングコース)) (長野県)

予測項目		予測結果
道路の存在・自動車の走行	触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変の程度	野辺山高原サイクリング (ロングコース) は計画路線と交差しますが、計画路線はトンネル区間であるため、触れ合いの活動の場の改変はありません。よって、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源は保全されると予測されます。
	利用性の変化	サイクリングやランニング等の主な利用は、野辺山高原のルート上を中心としたものであり、計画路線によるルートの変更はないため、サイクリングやランニング等の利用に支障は生じません。よって、利用性の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。
	到達時間・距離の変化	計画路線により改変される既存道路に対しては近傍に付け替え道路を整備するため、アクセス道路は分断されません。また、計画路線の利用による触れ合いの活動の場への到達時間の短縮が見込まれます。よって、到達時間・距離の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。
	快適性の変化	触れ合いの活動の場から、計画路線は視認されません。よって、快適性の変化による影響は生じないと予測されます。

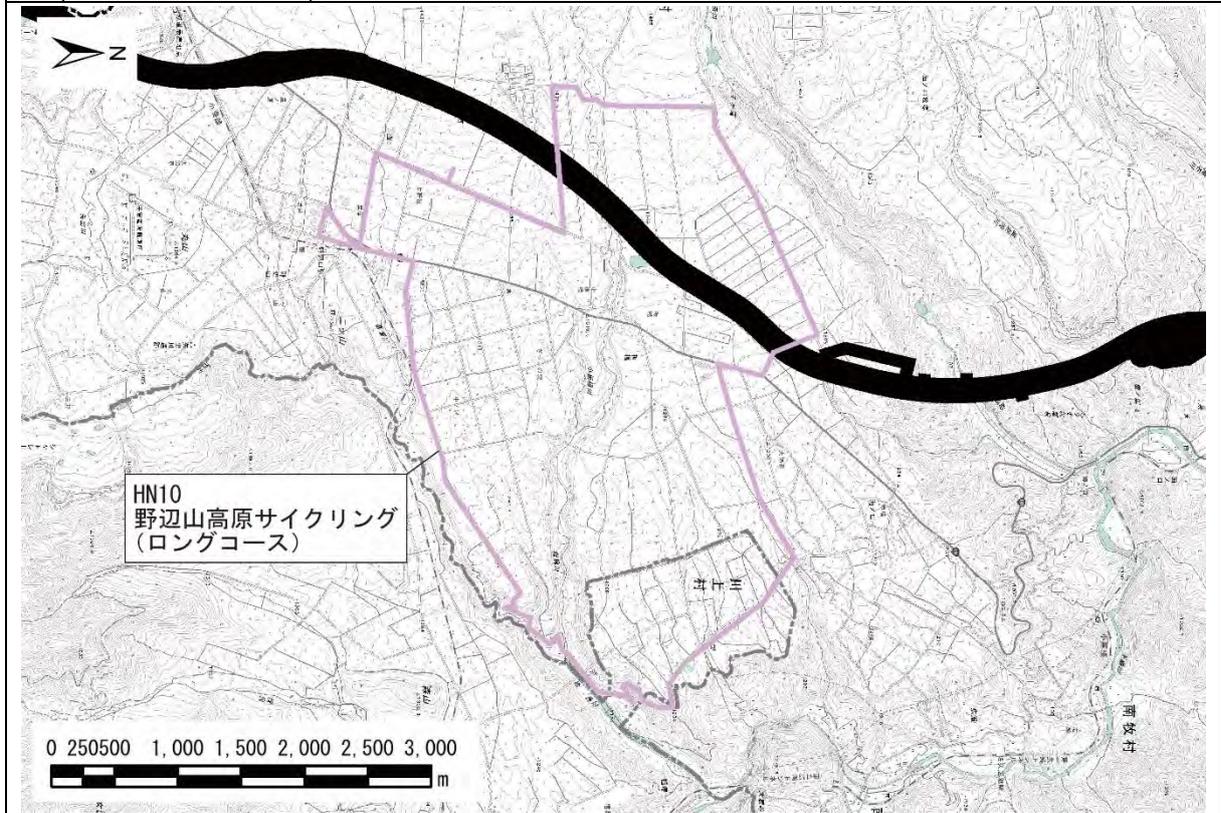


表 11.14.1-12 (7) 予測結果 (HN11 野辺山高原サイクリング (ショートコース)) (長野県)

予測項目		予測結果
道路の存在・自動車の走行	触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変の程度	野辺山高原サイクリング (ショートコース) は計画路線と交差しますが、計画路線は橋梁構造でルートの一部である既存道路の上部を通過するため、触れ合いの活動の場の改変はありません。よって、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源は保全されると予測されます。
	利用性の変化	サイクリングやランニング等の主な利用は、野辺山高原のルート上を中心としたものであり、計画路線によるルートの改変はないため、サイクリングやランニング等の利用に支障は生じません。よって、利用性の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。
	到達時間・距離の変化	計画路線により改変される既存道路に対しては近傍に付け替え道路を整備するため、アクセス道路は分断されません。また、計画路線の利用による触れ合いの活動の場への到達時間の短縮が見込まれます。よって、到達時間・距離の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。
快適性の変化		野辺山高原サイクリング (ショートコース) の一部から計画路線 (土工部・橋梁部) が視認されますが、計画路線が視認される範囲はルート上のごく一部であり、構造物 (橋梁等) 及び道路附属物の検討に当たっては、形式、デザイン、色彩について、周辺景観との調和や、地域住民に配慮します。よって、快適性の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。

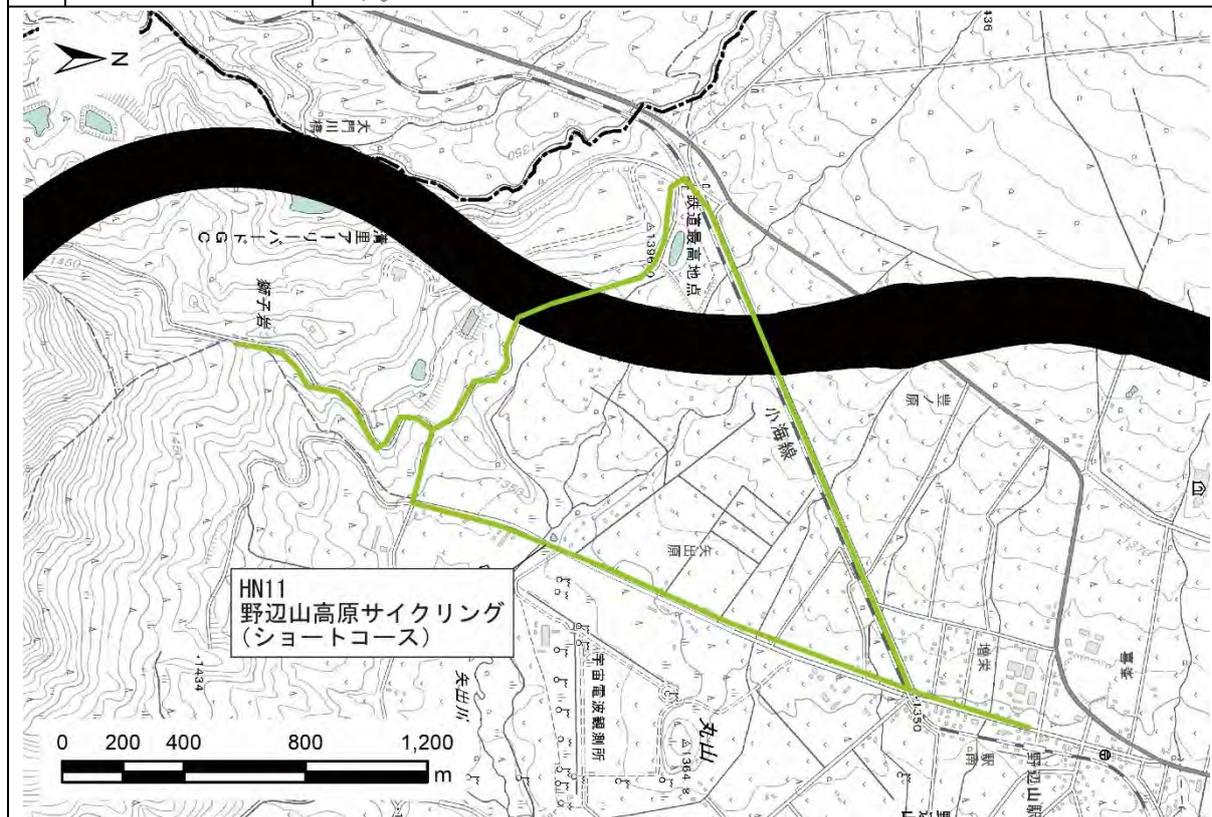


表 11.14.1-12 (8) 予測結果 (HN12 飯盛山ハイキングコース) (長野県)

予測項目		予測結果
道路の存在・自動車の走行	触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変の程度	飯盛山ハイキングコースは計画路線と交差しますが、計画路線は橋梁構造でルートの一部である既存道路の上部を通過するため、触れ合いの活動の場の改変はありません。よって、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源は保全されると予測されます。
	利用性の変化	登山・ハイキングや散策等の主な利用は、飯盛山周辺のルート上を中心としたものであり、計画路線によるルートの改変はないため、登山・ハイキングや散策等の利用に支障は生じません。よって、利用性の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。
		到達時間・距離の変化
	快適性の変化	飯盛山ハイキングコースの一部から計画路線（土工部・橋梁部）が視認されますが、計画路線が視認される範囲はルート上のごく一部であり、構造物（橋梁等）及び道路付属物の検討に当たっては、形式、デザイン、色彩について、周辺景観との調和や、地域住民に配慮します。よって、快適性の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。

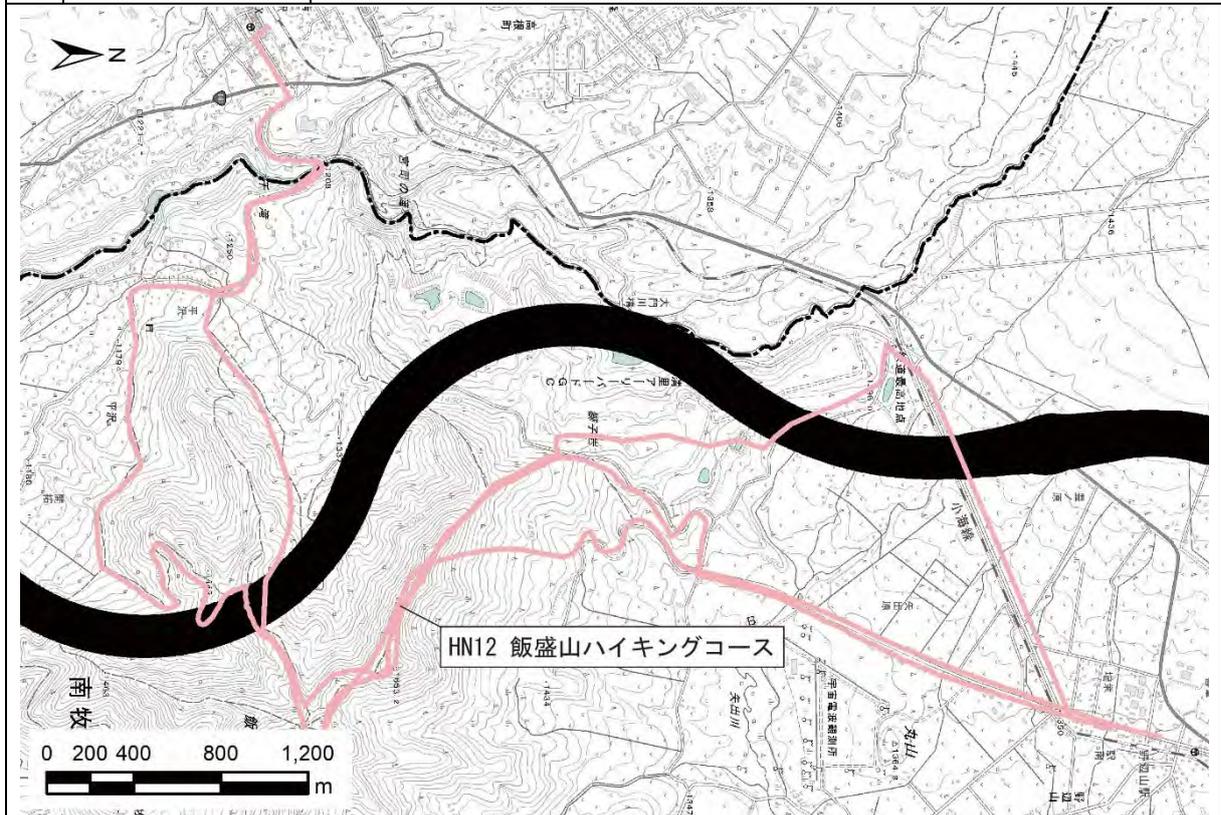
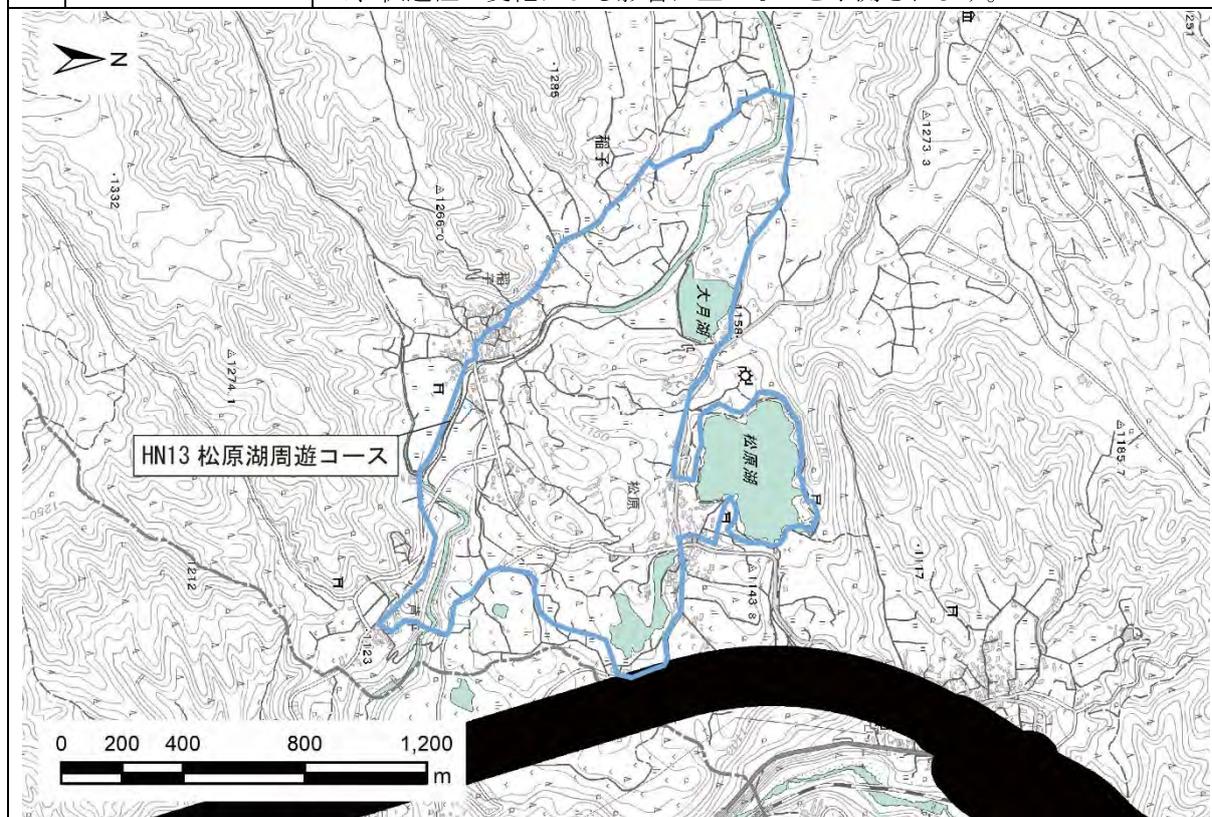


表 11.14.1-12 (9) 予測結果 (HN13 松原湖周遊コース) (長野県)

予測項目		予測結果
道路の存在・自動車の走行	触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変の程度	松原湖周遊コース付近はトンネル区間であり、計画路線と交差しないため、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変はありません。よって、触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源は保全されると予測されます。
	利用性の変化	ハイキングや散策等の主な利用は、松原湖周辺のルート上を中心としたものであり、計画路線によるルートの改変はないため、ハイキングや散策等の利用に支障は生じません。よって、利用性の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。
	到達時間・距離の変化	計画路線により改変される既存道路に対しては近傍に付け替え道路を整備するため、アクセス道路は分断されません。また、計画路線の利用による触れ合いの活動の場への到達時間の短縮が見込まれます。よって、到達時間・距離の変化による影響が生じる可能性は低いと予測されます。
	快適性の変化	触れ合いの活動の場のルート上から、計画路線は視認されません。よって、快適性の変化による影響は生じないと予測されます。



(4) 環境保全措置の検討

1) 環境保全措置の検討

予測結果より、道路（地表式、嵩上式）の存在、自動車の走行に係る人と自然との触れ合いの活動の場への影響について、事業予定者の実行可能な範囲内で環境影響をできる限り回避又は低減することを目的として、4案の環境保全措置を検討しました。

検討の結果、「構造物（橋梁等）及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討」、「地形改変部（法面含む）の緑化」、「光害に配慮した道路照明の検討」、「植栽等による道路の遮蔽」を採用します。

検討した環境保全措置は、表 11.14.1-13 に示すとおりです。

表 11.14.1-13 環境保全措置の検討結果

環境保全措置	実施の適否	適否の理由
構造物（橋梁等）及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討	適	構造物（橋梁等）及び道路付属物のデザイン、色彩に配慮することにより周辺景観に調和させることで、人と自然との触れ合いの活動の場への影響を低減できることから、本環境保全措置を採用します。
地形改変部（法面含む）の緑化	適	地形改変部（法面含む）の緑化を行うことにより周辺景観に調和させることで、人と自然との触れ合いの活動の場への影響を低減できることから、本環境保全措置を採用します。
光害に配慮した道路照明の検討	適	道路に設置する照明には「光害対策ガイドライン」（令和3年3月改訂版、環境省）等を考慮し、漏れ光、障害光の発生度の低い照明機器を導入します。
植栽等による道路の遮蔽	適	自動車騒音の低減及び心理的遮蔽効果を発揮させることにより、周辺環境と調和させることで、人と自然との触れ合いの活動の場への影響を低減できることから、本環境保全措置を採用します。

2) 検討結果の検証

実施事例等により、環境保全措置の効果に係る知見は蓄積されていると判断されます。

3) 検討結果の整理

環境保全措置に採用した「構造物（橋梁等）及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討」、「地形改変部（法面含む）の緑化」、「光害に配慮した道路照明の検討」及び「植栽等による道路の遮蔽」の効果、実施位置、他の環境への影響について整理した結果は、表 11.14.1-14 に示すとおりです。なお、「構造物（橋梁等）及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討」、「地形改変部（法面含む）の緑化」については、予測結果にて利用性または快適性に変化が生じると予測された人と自然との触れ合いの活動の場だけでなく、計画路線全域において対応するものとして考えております。また、環境保全措置の実施にあたっては、専門家等の意見を聴取しながら適切に行うものとします。

表 11.14.1-14(1) 検討結果の整理

実施主体	国土交通省関東地方整備局	
実施内容	種類	構造物（橋梁等）及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討
	位置	計画路線全域
環境保全措置の効果	構造物（橋梁等）及び道路付属物のデザイン、色彩に配慮することにより、周辺景観との調和が見込まれます。	
効果の不確実性	なし	
他の環境への影響	景観への影響が低減されます。	

注：環境保全措置の具体化の検討時期は、詳細設計の段階とし、最新の技術指針等を踏まえて決定します。

表 11.14.1-14(2) 検討結果の整理

実施主体	国土交通省関東地方整備局	
実施内容	種類	地形改変部（法面含む）の緑化
	位置	地形を改変する箇所
環境保全措置の効果	地形改変部（法面含む）の緑化を行うことにより、周辺景観との調和が見込まれます。	
効果の不確実性	なし	
他の環境への影響	景観への影響が低減されます。	

注：環境保全措置の具体化の検討時期は、詳細設計の段階とし、最新の技術指針等を踏まえて決定します。

表 11.14.1-14(3) 検討結果の整理

実施主体	国土交通省関東地方整備局	
実施内容	種類	光害に配慮した道路照明の検討
	位置	スターウォッチングサイトが 500m 以内に位置する明かり部（金生遺跡、清里オートキャンプ場）
環境保全措置の効果	漏れ光、障害光の発生度の低い照明機器（LED 灯等）を導入することにより、周辺景観との調和が見込まれます。	
効果の不確実性	なし	
他の環境への影響	動物への影響が低減されます。	

注：環境保全措置の具体化の検討時期は、詳細設計の段階とし、最新の技術指針等を踏まえて決定します。

表 11.14.1-14(4) 検討結果の整理

実施主体	国土交通省関東地方整備局	
実施内容	種類	植栽等による道路の遮蔽
	位置	バードウォッチングサイトが250m以内に位置する明かり部
環境保全措置の効果	自動車騒音の低減及び心理的遮蔽効果を発揮させることにより、周辺環境との調和が見込まれます。 (大門ダム(清里湖周辺)、清里湖畔(大門ダム))	
効果の不確実性	なし	
他の環境への影響	景観への影響が低減されます。	

注：環境保全措置の具体化の検討時期は、詳細設計の段階とし、最新の技術指針等を踏まえて決定します。

(5) 事後調査

予測の手法は、図上解析による変更の位置、程度の把握等の多くの実績を有する手法であり、予測の不確実性は小さいと考えられます。

また、採用した環境保全措置についても効果に係る知見が十分に把握されているものと判断でき、効果の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は行わないものとします。

(6) 評価結果

1) 回避又は低減に係る評価

計画路線は道路の計画段階において、主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び主要な人と自然との触れ合いの活動の場を取り巻く自然資源をできる限り回避した計画としており、環境負荷の回避・低減を図っています。

また、環境保全措置として「構造物（橋梁等）及び道路附属物の形式、デザイン、色彩の検討」、「地形変更部（法面含む）の緑化」、「光害に配慮した道路照明の検討」及び「植栽等による道路の遮蔽」を行い、環境負荷を低減します。

このことから、環境影響は事業予定者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価します。